

放射線と原子力防災の基礎知識 ～第4回リスクコミュニケーション講演会～



講師 武田 浩光 氏



講演会の様子

11月25日(土)、東通村防災セミナーにおいて、「第4回リスクコミュニケーション講演会(主催東通村、協力一般財団法人日本原子力文化財団)」が開催され、村民や村内事業者など、約90人が参加しました。

これは、原子力災害が発生した場合、国・県・村を含めた防災関係機関が連携し対応することとなりますが、村民の皆さんにも、村などの指示に従い、冷静に行動していただく必要があることから開催しているものです。

第4回目として、放射線と原子力防災に精通されている武田浩光氏(札幌医科大学附属病院放射線部 副部長)をお招きし、「放射線と原子力防災の基礎知識」と題してご講演いただきました。

武田氏から、放射線の基礎、自然の放射線、人工の放射線、放射

線の人体への影響、原子力防災などについて、事例を交えてご説明やご紹介がありました。

村は、国策である原子力政策に協力するとともに、安全性の確保を大前提として、原子力との共生による村づくりを進めています。

しかし、福島第一原子力発電所の事故が発生してから、我が国のエネルギー政策は、数多くの課題が山積し、今後のエネルギー政策のあり方が大きな議論となっています。

また、原子力災害が発生した場合における対応や体制なども大きく変更され、さらに検討が進められています。

村では、これらの状況を踏まえ、このような講演会をはじめ、様々な取り組みをしていくこととしておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

講演会の主な項目

1. 放射線って、なに？
2. 自然の放射線
3. 人工の放射線
4. 放射線の人体への影響は？
5. 原子力防災について

東通中学校3学年生徒 東通科発表会



生徒代表による修学旅行の報告

12月6日(水)、東通中学校参観日に、3学年生徒による、東通科発表会が行われました。

この発表会では、3学年生徒が修学旅行で実施した、東通村のPR活動等の様子を越善靖夫村長や参観に訪れた保護者に報告しました。

はじめに、修学旅行1日目の様子を報告し、つづいて2日目の東京都北区赤羽での、東通村PR活動について報告しました。

PR活動では、赤羽の商店街で緊張しながら鳴子踊りを披露したり、多くの商店街利用客に、苦労しながら自分達で声をかけ、東通

村をPRした様子を報告していました。

ほかにも、修学旅行の課外活動として実施された、埼玉大学でのキャンパスツアーについての発表が行われました。生徒は大学生とのグループワークを通じて、大学ではどのようなことが学べるのかについて話を聞き、自分達の進路について、より真剣に考えることができるようになったと報告をしていました。

東通科の活動をはじめ、修学旅行で様々な経験をした生徒の発表を、来場者は皆熱心に聴いていました。